



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

2005年7月 July No. 277
 Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2005~2006)

センテニアルクラブ会長 : 『 発想の転換と共に行動の転換を! 』
 国際会長 : 『 求めるワイズから 行動するワイズへ 』
 アジア会長 : 『 行動するリーダーになろう 』
 西日本区理事 : 『 すずめ、愛と勇気をもって 』
 中西部長 : 『 認め合い、ともに歩もう、ワイズたび 』

クラブ役員 Officers

会長 : 石津 雅人
 副会長 : 永島 肇
 書記 : 山田 孝彦
 会計 : 三浦 直之
 ネット会長 : 谷川 有美子
 Y連絡職員 : 鍛冶田 千文

【 Biblical Message of July 】

終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

(コリントの信徒への手紙 二 13章11節)

【 July Club Meeting 】

『 Kick-off / EMC-C 』

7月 第1例会

日時: 2005年7月20日(水) 18:30~20:30
 場所: リーガランドホテル 5階

司会 山田 孝彦君

1. 開会点鐘 石津 雅人会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 石津 雅人会長
4. 聖句朗読 福永 嘉彦君
5. 日々の糧・晩餐 ー 同
6. 会長就任式・司式 中西部長 北村 知三氏
7. 部長方針説明 中西部長 北村 知三氏
8. 会長挨拶・方針説明 石津 雅人会長
9. 方針説明 各事業委員長
10. インフォメーション 各担当
11. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
12. 閉会点鐘 石津 雅人会長

7月 第2例会

日時: 2005年7月27日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

* 7月例会当番 1班 (山田、谷川、中村、田中)

* 7月お誕生日 坂本メネット21日

新年度にあたって思うこと

石津 雅人

ワイズの会員として行うべきことは確実に、出来ることは率先して行う。

当クラブは例会の出席状況が良いとはいえない状況にあります。月1回の例会には最優先で出席していただくことにより、クラブの活気や和を生み出す根源となると思いますが、このことでYMCAとの共働プログラムや地域奉仕活動に率先して参加できるようにと思っています。参加して共に活動することで、楽しさや喜びを感じることができるのではないのでしょうか。

会員数が減少している現状を踏まえて、会員の増進に力を入れるべきではないかと考えます。現在ワイズで活動しているわいわいが、楽しく感じていなければ、人は集まらないと思いますし、例会だけでなく、YMCAの活動や、関西ののちのちの電話のチャリティコンサート、ハザー、当クラブの健康ハイキングなど、機会あることに周りの人を誘って、共に楽しめるようにしたいものです。

【 クラブ統計 Statistics 】 下欄()は、うち 広義会員を表わす。

2005年6月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 19(1)名	メン	9名	6名	6月:切手 170gr.	6月: 14800円
	メネット	4名	名	現金 円	(04年7月~05年6月の)
例会出席 10名	ビジター	5名	名	(04年7月~05年6月の)	累計: 157,050円
うちメグアップ 1名	ゲスト	8名	名	累計:切手 3,982gr.	[除く、クリスマス献金、
出席率 55.5%	合計	26名	6名	現金 17,000円	オークション、記念献金]

6月第1例会

【 Report of the June Club Meeting】

(6月25日(土) 1330~15:45
大阪YMCA土佐堀館・302号室)

松浦 孝次

○6月例会は、デファレンスデイとして開催。「西アフリカのいま—なぜアフリカが注目されているか」をテーマに、昨年 ワイズBF代表として西アフリカ(ナイジェリア、ガーナ)を訪問された 林 茂博さん(東京コスモスクラブメンバー)から、西アフリカの政治・経済・文化・教育・暮らし・YMCAについて、お話を伺いました。三浦直之メンの紹介で、氏をお招きしました。

○メン9人、メネット4人。ゲストは、わがクラブメンバーの友人・知人、YMCAスタッフ、大阪クラブ・なかのしまクラブのメンバー 計12人が出席されました。お茶を飲みながらのくつろいだ会合でした。中村茂高メンの司会。

○林 茂博さんは、4週間にわたって訪問された西アフリカ2国の、身近な住民生活について、さまざまな情景を画像で紹介されました。日本からの出国時には10指にあまる伝染病の予防措置が必要だったこと、現地での制約された飲食・トイレ・風呂事情など、きびしい体験を、明るく、楽しく語られたことが印象的でした。氏のバイタリテイには本当に感服!!

日本では、南・東アフリカは比較的知られているものの、西アフリカにいたっては旅行ガイドブックにも載っていない土地で、情報はほとんど入ってこないところ。政情の不安定、宗教や部族の対立、ワイロの横行、経済的貧困、エイズなど病気、学校事情など、われわれにとってこれまでは 他人事のように思っていた かの地の生々しい現状について、知ることができました。

○林さんは、ナイジェリア、ガーナのワイズメンたちから、「あなたは何をしてくれるのか」を求められたそうです。

この現状を伝えることと、「1日1ドル以下で暮らしている人たち」のために、①1人100円の寄付と②IT教育のために中古パソコン(できればノート型、W95/98で十分、インターネットが繋がらなくともよい)を送ることを、推進されています。

この会でも、参加されたみなさんが、ささやかながら「100円寄付」に協力しました。

(右の写真 上は 林 茂博さんのスピーチを聴く参加者
中・下は 現地の衣装をまもって話す林さん)

今月の聖句に寄せて

この聖句の下線部分が本年度の大阪YMCA年間聖句として採用されましたので、当クラブの新年度最初の聖句としても選ばせていただきました。21世紀を「共生と平和の時代」との期待をもって迎えましたが、実態はますます期待から離れた方向に進んでいるように思えます。今の私たちに必要なのは、平和を安易にとらえるのではなく、重く受けとめ、その実現に向けて行動することです。この一年、この聖句の示す意味を考えながら進みたいものです。

(聖句選、コメント：田中 稔二)



6 月 第 2 例 会

【 Report of the June Club Meeting 】

(6月22日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

出席：石津、鍛冶田、福永、藤原、三浦、山田 6名

1. 7月第1例会プログラムを決定した。

第1面記載のとおり。会長就任式のため中西部長の公式訪問がある。

2. 7月以降の例会プログラムを検討した。

3. ディファレンスデイ(6月25日)運営の確認をした。

4. その他

- (1) 7月以降の連絡網、班分けを決めた。
- (2) EMC、ファンド作りについて、意見交換。

お 知 ら せ

1. 関西のちの電話 チャリティコンサート

7月30日(土) 15:30開場 16:00開演

“子守歌はだれのもの?” 日下部吉彦氏のレクチュアコンサート いずみホール 前売り2000円

なお、センテニアルは関西のちの電話を支援しています。メンバーは代金2枚分5,000円のご負担よろしく(クラブから1,000円を補助)。当日の奉仕者は14:30集合。

2. 第21回ワイス・アジア大会

8月26日(金)~28日(日) 韓国ソウルで開催。

3. 第9回中西部会 秋の一日ワイスの未来を語ろう!

10月10日(月・祝) グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

13:00~14:00 合同メネット会

14:00~15:00 昼食会

15:00~18:00 中西部・パネルディスカッション

「21世紀に生き残れるか! YMCAとワイス」ほか

6 月 B F ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in June 】

山田 孝彦(書記)

◇切手提供者：山田、鎌田、松浦、田中君 計170gr

○今月の殊勲賞：山田君 90gr

いまわが家には、栗山君のところから持ち帰った未整理の使用済み切手がパッキングケース一杯あります。

前年度は現物を提供してないので、これをもう一度キチンと整理すれば、ポイントを稼げることになるでしょう。

(写真 右上：西日本区大会・大会式典での わがメンバー
右下：大盛況のメネットアワー)

YMCA ニュース

大阪YMCA国際専門学校 鍛冶田 千文

■ 日本介護予防指導者協会 設立記念講演会 「元気な社会づくりへの挑戦～チャレンジ OSAKA 2010～」

任意団体「日本介護予防指導者協会」を大阪府地域福祉推進財団とともに立ち上げました。事務局を大阪YMCAが担います。当協会は、介護保険制度改正により、高齢者の身体機能を維持する介護予防給付が導入されることに対応する指導者を養成します。

- ・日時：2005年7月3日(日) 10:00~12:00
- ・場所：大阪YMCA会館ホール
- ・参加費無料

■ 大阪YMCA早天祈祷会

- ・日時：7月15日(金) 7:30~8:30
- ・証し：魚住秀雄(南Yスタッフ)

■ 水中生物の観察会 ～ おもしろいですよ ～

- ・日時：7月31日(日) 8:50梅田集合
- ・行き先：有馬温泉 泉源/滝川(大谷付近)
- ・参加費：200円(交通費各自負担)
- ・主管：土佐堀YMCA地域活動委員会



On June 25th, a total of 26 Y's men, Y's menettes, Y's men guests from another clubs and other guests were in attendance at the club's June meeting, which was named the "Difference Day Gathering" to promote our activities to the prospective candidates.

We had a distinguished guest speaker from Tokyo, Y's man SHIGEHIRO HAYASHI, a member of the Tokyo Cosmos Y's Men's Club and a BF delegate visited the two West African countries almost two years ago.

Y's man SHIGEHIRO HAYASHI spoke about present situation of Nigeria and Ghana, covering their politics, economy, culture, education, daily life and YMCA activities of these two countries, showing movies and pictures taken by him during his stay there.

This was a quite good opportunity for us to know the real Africa, as we Japanese were generally less keen to learn about Africa than Asia. We learnt a lot from what he reported and decided to join his effort to make a 100 Yen coin contribution to those who are living under one US dollar per one day and for sending second handed PCs to the two African countries..

IBCクラブニュース

藤原 正巳 (IBC・DBC委員長)

"Aloha from Hawaii": ハワイヌアヌクラブのプリテンから

○ James Chong さん会長に就任

前号でお知らせしたように、同クラブの会長が交代しました。新会長のJames Chongさんは、ワイズ暦2年、25歳の学校の先生です。

○ 女性新会員2名を獲得!!

同クラブでは、このたび2名の女性会員の獲得に成功しました。新会員は、Nuuanu YMCA スタッフのKathy Ahloさんと、会員のKim Matsukawaさんです。25歳の会長の誕生や、若い2人の女性会員の獲得など、ヌアヌクラブには新しい風が吹き始めているようです。

"Bauhinia News": 香港Bauhiniaクラブニュースから

○ Virginia Wong さん 新会長に就任

同クラブでは、新年度を迎え役員が一変しました。新会長にはVirginia Wongさん、書記にはConnie Yipさん、会計にはWilma Toongさんが就任しました。

☆ EMC

畠中 彬

センチアルクラブは、会員の死亡や退会が相次いで、会員の減少傾向が続いています。そのため新入会員の獲得が急がれますが、同時にわがクラブが若い人や、これから入会しようとする人にとって魅力的なものかどうか、現状の見直しも必要です。

わがクラブの活動を、パフォーマンスとメンテナンスの両面から再点検をして、われわれの視点だけでなく、外部の人の視点にたって、魅力あるクラブにして、新入会員を勧誘していきましょう。

☆ 交流 IBC/DBC/YEEP/STEP

藤原 正巳

以下の方針と計画により、会員がIBC/DBC活動を通じて、ワイズ活動の楽しさを再認識できるよう努めたいと思っています。

また、将来のワイズメン育成を目的として、会員子弟などに対するYEEP/STEPプログラムについても、あわせて啓発活動を行う予定です。

[基本方針]

- ① 内外ブラザークラブの活動実態について、情宣活動を継続する。
- ② 内外ブラザークラブに対する情報提供活動を強める。
- ③ 内外ブラザークラブとの具体的な交流プログラムを検討。
- ④ YEEP/STEPプログラムの情宣活動を実施する。

[実施計画]

- ① 内外ブラザークラブの実態把握と情宣活動
 - ・プリテンの"Aloha from Hawaii" Bauhinia News "を引き続き掲載する。
 - ・東京セントラルクラブのプリテンから、参考情報を抽出し会員に提供する。
- ② 内外ブラザークラブへの情報提供活動
 - ・海外ブラザークラブに対し、プリテンの英文Club Activities欄を拡大し、例会以外の情報の掲載を検討する。
 - ・国内ブラザークラブに対し、プリテンなどにより有用な情報提供を図る。
- ③ 交流プログラムの検討
 - 会員にアンケート調査を行い、内外ブラザークラブとの交流方法などの具体的な検討を行う。
- ④ YEEP/STEPプログラムについての情宣活動
 - 会員に対し、YEEP/STEPプログラムの内容・応募方法などにつき、具体的な情報提供を行う。

(他の委員長の方針は 次号に掲載します)

新緑ハイキング レポート

— 山の辺の道 —

三浦 直之

6月4日(土) JR 桜井線、三輪駅10:04分集合、そこを出発点に、山の辺の道を天理 石上神宮まで約14Kmを歩くコースです。参加したのは、石津、隅田、畠中、山田、三浦メン、隅田メネット、古賀さんの7名でした。

「山の辺の道」は奈良市から桜井市に至る約35Km余りをいい、日本最古の道として有名で、周辺には記紀万葉時代の遺跡が数多くあります。

私達は先ず、三輪神社にお参りし、前途の安全を祈願し、狭井神社、玄寶庵、檜原神社と過ぎ、景行天皇陵、崇神天皇陵と順調にこなし、正午過ぎに中間地点の長岳寺トレイルセンターに到着しました。トレイルセンターで昼食を取り、おなかも満腹になったところで長岳寺を見学しました。

なお 畠中メンは、夕刻から大阪で仕事があるとのことで昼食後 帰阪しました。忙しい中、大変ありがとうございました。

さて、長岳寺は、空海が創建した名刹で、特に、藤原朝時代の鐘楼門は、すっきりとした誠に軽やかな印象でした。



(檜原神社の石段で—— 三浦、畠中さんの姿は、カメラの外)

後半は、前半に較べて視界が開けたコースで、竹之内環濠集落、夜都伎神社、内山永久寺跡と通り、午後3時頃、最終目的地の石神神宮に到着しました。

おっと、最後の一踏ん張りです。天理教総本部を横に見ながら、JR 天理駅まで無事到着。(この天理のアーケードが意外に長かった)

今日のコースは整備が良くされ、比較的平坦な道で歩きやすいところでした。ただ、参加者が少なかったのが残念でした。

(写真右上: 西日本区大会で、表彰状を受取る石津会長
右下は わがクラブのメンバー・・・福永・坂本さんはカメラの外。)

第8回ワイズメンズクラブ

西日本区大会

松浦 孝次

6月10日(金)~6月12日(日)、震災10周年を記念して、神戸ポートピアホテルで、総勢870人が参加して開催されました。わがクラブからは、石津会長をはじめ、谷川寛、福永、山田、三浦、松浦メン、坂本、松浦メネットが参加。

私は、11日の朝からのメネットアワー(226人参加)に両メネットとともに出席し、「スペシャルオリンピックス日本」と「STOP! HIV/AIDS」の支援を中心にしたメネット事業の報告を聴きました。

「スペシャルオリンピックス日本」日本代表の細川 佳代子さんがスピーチ。「知的障がい者(児)が必死になって自分に挑戦し、昨日の自分をのりこえようとがんばる ひたむきな姿に接して、こちらの価値観が変わる、むしろこちらが癒される」というお話に大変感動しました。また、私自身「スペシャルオリンピックス」についてよく知らなかったことに恥じる思いでした。細川さんは、何人かの知的障がい者の「挑戦事例」を紹介されましたが、会場は目頭をおさえる人たちが多くみられました。

また、「STOP! HIV/AIDS」は、今後5年間の統一世界事業として取り組むことに決まっています。

11日午後、国際会議場で大会式典が開始。メモリアルアワーでは、故鈴木謙介メン、栗山佳三メンを含む11人の方々を追悼しました。パネルディスカッションは「神戸、今あなたとともに」。大震災を通して、共に生きる社会、ボランティア、ワイズの未来などについて、語られました。

12日(日)の表彰式では、わがクラブは DBC 締結賞、ノンドロップ賞を受け、正午 閉会しました。



THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

○楽しいお話しを聞かせていただきましてありがとうございました。アフリカの状況がよくわかりました。ユニセフでもアフリカの参状を訴えていますね。YMC Aも世界的に活動され、ご奉仕ご苦労さまです。

(有岡 宗一)

○林様、ご遠方のところをおいでくださりまして、ありがとうございました。BFデリゲートで行かれたアフリカのお話し大変興味深く聞かせていただきました。少しは開けているようですがまだまだ貧しい。講師の言われたとおり、私に何ができるのでしょうか？ YMC Aにかかわることを幸せに、貧者の一灯になれば、奉仕を続けていければと、心に誓った一時を、ありがとうございました。

(大阪なかのしまクラブ 今井利子)

○林さんのお話しを聞くのは2回目です。今日の第2部は少し短かった気がします。Y SやYMC Aの活動についてはもっとゆっくり知りたかったです。写真は良かったです。ありがとうございました。今年こそ、西日本区からBF代表が出るよう願っています！

(大阪なかのしまクラブ オードリ・ギルク)

○ワイズメンズクラブのご紹介のリーフレットはとても的確でわかりやすい、すてきなものです。活動内容がよくわかりました。

「西アフリカの今」の話は、とても興味深く、しかも分かりやすい説明で、今まで全く知らなかった世界を教えてくださいました。楽しい一時でした。

(大阪クラブ 北村信子)

○英語で歌う初めてのワイズソングでした。「西アフリカの今」の現実を、BF代表の林さんに聞きやすく分かりやすく話され、貴重な体験でした。またワイズの良い日ことができました。

(大阪クラブ 北村知三)

○西アフリカのお話し、興味深そうかいました。昔、仕事でナイジェリアへの輸出物資を扱っていましたが、その時にはわからなかったお国事情が見えました。何か物悲しい気分になってしまったのですが……。

(大阪なかのしまクラブ 国友朝子)

○BFで(古切手を集めるのではなく、使用済み切手を集めてと……)、アフリカのナイジェリアに行かれたお話しを楽しくお聞きしました。ありがとうございました。

(大阪なかのしまクラブ 藤井 弥生)

○興味深いお話しありがとうございました。旅心を刺激されました！

(土佐堀YMC A 御蔵胡宏)

会員からのメッセージ

○今まで興味すら持つことがなかった西アフリカについて、こと細かに知ることができたことを感謝します。実に楽しく面白い一時でした。

(石津 雅人)

○興味深く林さんのお話し聞きました。遠い地のYMC A・ワイズの働きを知り、誇りに思うと同時に、近くで自分ができることを……と思わずにいられませんでした。

(鍛冶田 千文)

○アフリカのガーナに友人がいますが、その友人が話してくれたガーナのこととは、多少、いやかなり(?)現状が違い、やはりガーナの人自身は、自国をよく見せたいという気持ちが働いているのだと思いました。

(坂本 千寿)

○アフリカのナイジェリア、ガーナについて興味深く勉強させていただき、ありがとうございました。

(田中 稔二)

○未知の国アフリカはナイジェリア連邦共和国の話、興味深く拝聴しました。BFで旅行された経験による彼らの生活状況(不衛生)、子供達の置かれた環境(教育は富裕者のみ)、YMC Aが焼き討ちにあった話 などなど。今では考えられない多くの病気がある国へ旅されたことも含めて、勇気あるご旅行に敬意を表します。ありがとうございました。

(谷川 有美子)

○生活の細部にまでわたり ご説明いただいて、これからより深い興味を持ってニュースや新聞に目を通してゆきたいものです。お話しが、とてもお上手でとても楽しかったです。

(中村 幸枝)

○林さんのスピーチ、西アフリカの紹介はなかなか聞く機会の少なくとても興味深いお話しでした。YMC Aは世界各地で、良い働きをされていることを実感しました。

(中村 茂高)

○林さんのお話し、大変興味深く拝聴させていただきました。ディファレンスデーの行事としては最適で、もっと大勢の人に聞いて頂きたかったと思います。

(藤原 正巳)

○アフリカに55カ国の国があるなんて初めて知りました。ナイジェリアとガーナのお話し、大変興味深く聞かせていただきました。妹がブルンジへ、娘が南アフリカに旅したことがあります。アフリカでも国によってずいぶん社会環境が違うんだなと知りました。

(松浦 和子)

○林さんのスピーチ、アフリカについて知らないことが多いだけに新鮮な思いで聞きました。さて、これからアフリカはどう進んでいくのか？ 日本の援助はどうあるべきか？ YMC A、ワイズとして連帯をどう表していくのか？ 気の遠くなるような、大きな課題ですね。

(松浦 孝次)

○林 茂博様、西アフリカの大変面白いお話しありがとうございました。

(三浦 直之)

《 編集後記 》

新年度を迎え、臆面もなくまたブリテン担当を務めますが、紙面に多少の工夫をと、第1面は「巻頭言」をメンバーが書き、「聖句」はメンバーが交代で選句し自分の思いを述べることにしました。今月は、石津雅人会長と田中稔二メンに、それぞれ担当してもらいました。

林 茂博さんの西アフリカのお話しには啓発されました。そしてワイズメンズやYMC Aの世界的な活動に、感動します。

(松浦 孝次)